

研究者などへの推奨

インセンティブ

クロスアポイントメント実施に当たっては、研究者等の意欲向上に向けて、以下のインセンティブを付与することが推奨されます。

【クロスアポイントメント制度で大学の研究者を企業側が受け入れた場合の給与の上乗せ例】



研究者等への給与額のインセンティブ

出向先で実施する業務内容等を査定。その結果、出向元機関の基本給与額を上回った場合、差額を手当等で研究者等のインセンティブとして支給

研究者等の従事比率（エフォート）に応じた業務の調整

クロスアポイントメントをする研究者等の従事比率（エフォート）は、出向先において増えた業務量に対して、出向元の業務を軽減

研究者等のクロスアポイントメントの実績の評価

研究者等のクロスアポイントメントに係る業務も含めて実績を評価

クロスアポイントメント制度の

必要な手続き

規程の創設



大学

協定内容の協議



大学



企業

制度運用



大学



企業

クロスアポイントメントの導入に必要な手続きは、まず、大学で学内規程を創設し、組織間の協定書案を作成。次に、組織間でクロスアポイントメントの目的や企業でのテーマ・従事内容に応じた期間、従事比率、身分（肩書き等）を調整して、クロスアポイントメントの協定内容を協議します。そして、決定した組織間協定に基づいて、労働契約を結び、運用を開始となります。

関連情報

詳細資料はこちらをご覧ください。



経済産業省

クロスアポイントメント制度について



文部科学省

クロスアポイントメント制度の基本的枠組と留意点【追補版】

クロスアポイントメント



検索

経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/cross_appointment.html
文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/mext_00750.html

※「クロスアポイントメント制度の基本的枠組と留意点【追補版】」では、大学等一企業間におけるクロスアポイントメントをより促進することに主眼を置き、制度を利用する研究者等へのインセンティブ（混合給与の促進）や、制度導入に向けた手続きの明確化、労務・知財管理などの契約面における課題を整理しました。

The Cross-appointment System

クロスアポイントメント制度

のススメ

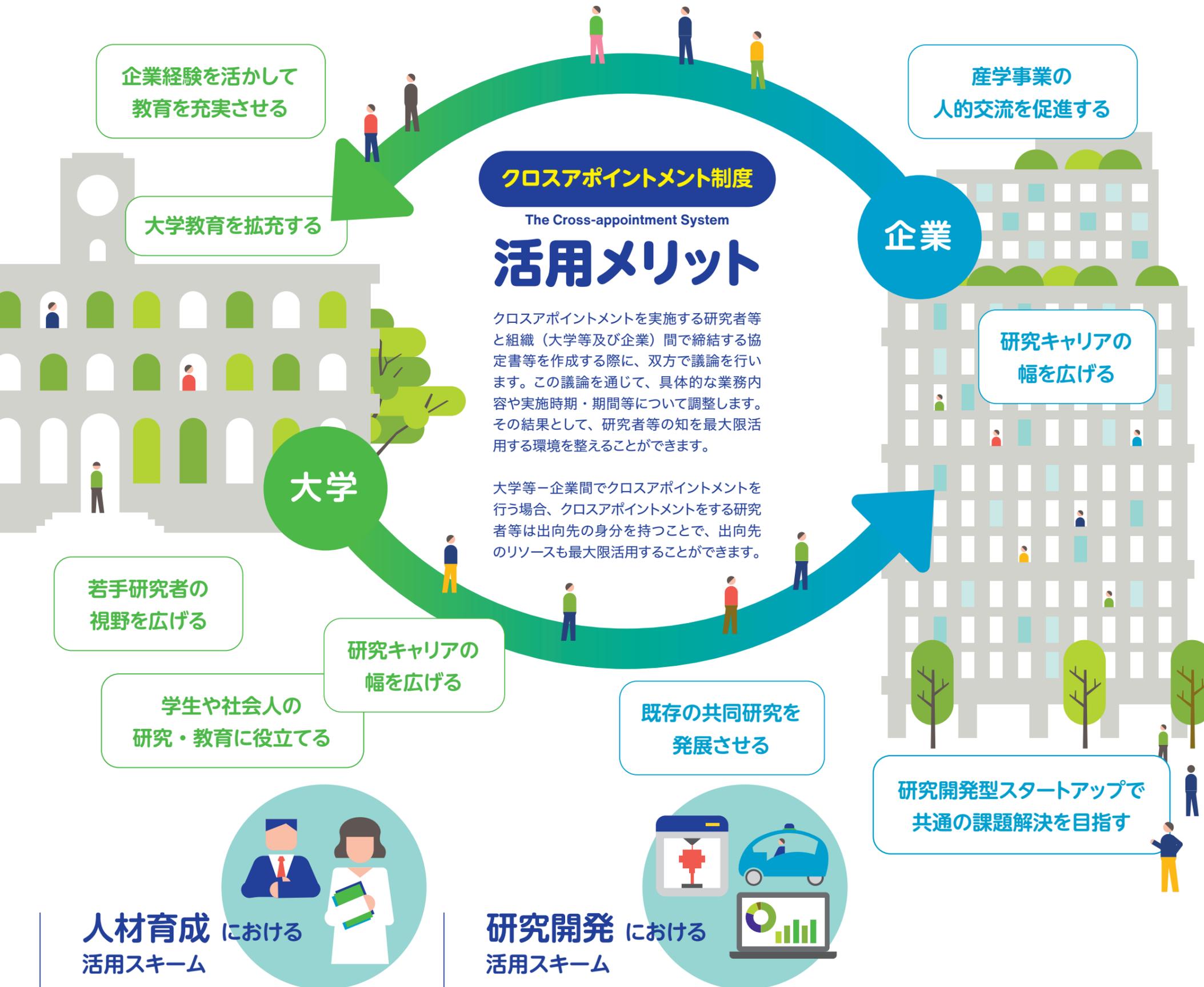


クロスアポイントメント制度とは

研究者等が、複数の大学や公的研究機関、民間企業との間で、雇用契約を結び、活動を行うことを可能とする制度です。本制度の活用により、研究者等が、組織の壁を越えて活躍することが可能になります。このため、研究機関間での技術の橋渡し機能の強化も期待できます。

活用メリット & 事例紹介





クロスアポイントメント制度 The Cross-appointment System 活用メリット

クロスアポイントメントを実施する研究者等と組織（大学等及び企業）間で締結する協定書等を作成する際に、双方で議論を行います。この議論を通じて、具体的な業務内容や実施時期・期間等について調整します。その結果として、研究者等の知を最大限活用する環境を整えることができます。

大学等—企業間でクロスアポイントメントを行う場合、クロスアポイントメントをする研究者等は出向先の身分を持つことで、出向先のリソースも最大限活用することができます。

人材育成における活用スキーム

- ・若手研究者等が、広い視野を持ち将来のキャリアの幅を広げることが可能
- ・企業経験を積んだ研究者等が、大学の教育に取り組むことで産学の視点を持った学生を育成

研究開発における活用スキーム

- ・共同研究等を通じて信頼関係を維持した上で、研究者等が、大学等や企業に出向
- ・大学研究者等が、研究開発型スタートアップで研究課題の解決や技術の社会実装を実施

「クロスアポイントメント」と「兼業」との違い

兼業とは、本業に支障がない業務内容・業務時間の範囲で兼業先の業務に従事することです。クロスアポイントメントの場合は組織間の協定のもとに業務内容や業務時間の調整ができる他、協定内容によっては両組織のリソースを相互活用することもできます。

大阪大学 株式会社小松製作所

期待する成果 **新規研究テーマの策定及び研究推進**

大学研究者の自由な発想をもとにした新規研究を尊重した研究環境を提供するコマツみらい建機協働研究所の中でクロスアポイントメントを通じた人材交流をすることで、大学研究者の知的好奇心を探索するような研究を進めています。

エフォート率 **大学→企業 80 : 20**

業務内容 大 学：教育業務・研究業務（教授クラス）
企 業：新規研究開発

メリット 大 学：共同研究を発展させた産学連携の深化
企 業：大学研究者の自由な発想をもとにした新規研究開発
研究者：自由な研究をするための研究資金や研究設備の活用
給与増額インセンティブあり、業務軽減措置あり、人事評価考慮あり

茨城大学 不二製油グループ本社株式会社

期待する成果 **大学の教育の拡充
新規研究テーマへの取り組み**

テーマが決まっている共同研究と異なり、テーマ探索を進めながら研究開発を進められることが非常に有用になっています。また、大学としては教員が企業の研究開発を行うことにより、学生に対してより実践的な教育を行うことが出来るなどのメリットがあります。

エフォート率 **大学→企業 50 : 50**

業務内容 大 学：教育業務・研究業務（委員会等業務は一部免除）（若手教授クラス）
企 業：新素材開発の研究開発

メリット 大 学：共同研究の強化、学部生・大学院生の実践的な学習の拡充
企 業：研究成果による知的財産を企業帰属とする契約締結
研究者：研究キャリアの幅を広げる
企業の研究環境を若手・中堅・学生に提供
給与増額インセンティブ、業務量軽減制度、人事評価制度あり

名古屋大学 株式会社ティアフォー

期待する成果 **自動運転技術の社会実装の加速化**

名古屋大学発のベンチャーであるティアフォーに名古屋大学の研究者がクロスアポイントメントをしています。研究者が自動運転技術に関わる実証実験や研究成果の事業化に取り組むとともに、ティアフォー側も最先端の知見を持つ研究者を受け入れて事業開発を進めています。

エフォート率 **大学→企業 90 : 10** **大学→企業 80 : 20** **大学→企業 50 : 50**

業務内容 大 学：教育業務・研究業務（いずれも准教授クラス）
企 業：自動運転の技術開発

メリット 大 学：大学発の自動運転技術の実証的な研究と事業化の加速化
企 業：最先端の知見や技術を持った研究者の獲得
研究者：自動運転に関わる研究成果の事業化経験
給与増額インセンティブ、業務量軽減制度あり